



福岡医発第 2352 号 (地)

平成 24 年 12 月 28 日

各 医 師 会 長 殿

福岡県医師会

会長 松 田 峻一良

(公印省略)

予防接種法改正による 7 ワクチンの定期接種化を実現するための
署名活動の実施について (お願い)

標記の件につきましては、既に日本医師会より直接、貴会宛に依頼がなされていることと存じておりますが、本会に対しましても同様に依頼がありました。

そこで、平成 24 年 12 月 27 日開催の本会第 28 回全理事会において協議の結果、本会においても標記署名活動に協力することが決定いたしましたのでご連絡申し上げます。

つきましては、貴会におかれましても本趣旨についてご理解いただきますとともに、貴会会員への周知方よろしくお願い申し上げます。

なお、

- 1) 署名用紙を貴会にてお取りまとめいただき平成 25 年 2 月 22 日 (金)までに、本会地域医療課宛に原本をお送りいただきますようよろしくお願いいたします。
- 2) 署名は一会員あたり 50 名以上を目標にお願いいたします。

小郡三井医師会より

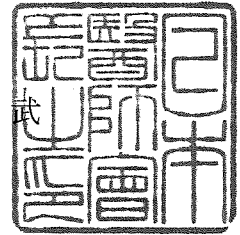
予防接種担当理事 松行眞門
会長 蒲池 壽

上記については、すでにご案内しておりましたが、再度ご協力のお願いを送付いたします。署名用紙等は日医雑誌1月号に同封されます。会員あたり50名以上を目標に署名活動をお願いいたします。集まりましたら2月15日までに当医師会事務局へご提出ください。

平成24年12月17日

都道府県医師会長 殿

日本医師会
会長 横倉 義武



予防接種法改正による7ワクチンの定期接種化を
実現するための署名活動の実施について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より本会会務運営に種々のご高配を賜り深く感謝申し上げます。

さて、厚生科学審議会感染症分科会予防接種部会において平成24年5月23日に取りまとめられた「予防接種制度の見直しについて（第二次提言）」では、「医学的・科学的観点からは、7ワクチン（子宮頸がん予防、ヒブ、小児用肺炎球菌、水痘、おたふくかぜ、成人用肺炎球菌、B型肝炎）について、広く接種を促進していくことが望ましい。」とされました。

しかしながら政府においては、これら7ワクチンの定期接種化については、財源の問題により、平成22年度から補正予算で時限的に公費助成されている子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業の対象である3つのワクチン（子宮頸がん予防、ヒブ、小児用肺炎球菌）を優先する動きもあります。

日本医師会と予防接種推進専門協議会は、諸外国とのワクチンギャップを解消し、ワクチンで防ぐことができる病気（VPD：Vaccine Preventable Diseases）からひとりでも多くのひとを救うために、7つのワクチンのすべての定期接種化に向け、速やかな予防接種法の改正の実現のため、署名活動を行うことといたしました。

本署名活動については、全国民を対象とすることとし、できるだけ多くの方々にご賛同いただき、ご署名いただきたいと考えております。

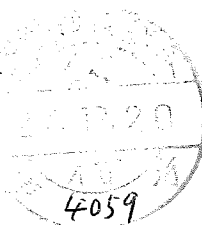
つきましては、署名活動を別添により実施いたしたく、特段のご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。署名用紙等については日本医師会雑誌1月号に同封するとともに、日医ホームページ（<http://www.med.or.jp/vpd/>）からもダウンロードが可能となっております。また、貴会会員に対する周知協力方につきましても、併せてお願い申し上げます。

署名の回収方法の詳細は、別紙手順のとおりですが、貴会におかれましては、郡市区医師会からの署名数を集計いただき、様式2および署名用紙を2月27日（水）までに本会宛お送りいただきますよう、よろしくお願いいたします。

さらに、地域住民に対する本活動の広報につきましても、ご高配のほど重ねてお願い申し上げます。

なお、本署名活動につきましては、郡市区医師会宛にも直接お願い申し上げておりますことを申し添えます。

敬具



趣意書

わが国では、子宮頸がん予防、ヒブ、小児用肺炎球菌、水痘、おたふくかぜ、成人用肺炎球菌、B型肝炎などのワクチンは任意接種であり、日本の予防接種政策は世界から大きく遅れているのが実情です。

厚生科学審議会感染症分科会予防接種部会において平成 24 年 5 月 23 日に取りまとめられた「予防接種制度の見直しについて（第二次提言）」では、「医学的・科学的観点からは、7 ワクチン（子宮頸がん予防、ヒブ、小児用肺炎球菌、水痘、おたふくかぜ、成人用肺炎球菌、B型肝炎）について、広く接種を促進していくことが望ましい。」とされています。

ワクチンで防ぐことができる病気（VPD：Vaccine Preventable Diseases）からひとりでも多くのひとを救うために、予防接種法を改正し、地域間や経済的格差なく、希望するすべてのひとが定期接種でこれらのワクチン接種が受けられる制度を早期に実現させる必要があります。

日本医師会と予防接種推進専門協議会は、7つのワクチンの定期接種化に向け、速やかな予防接種法の改正の実現のため署名活動を行うことといたしました。

国民の皆様にも広くこの活動の趣旨をご理解いただき、ひとりでも多くの方にご署名賜り、国への働きかけの力とさせていただきたいと存じます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

平成 25 年 1 月

日本医師会
会 長 横倉 義武

予防接種推進専門協議会
委員長 岩田 敏

署名活動実施要領（手引き）

1 関係資料一式

（日本医師会ホームページ<http://www.med.or.jp/vpd/>からもダウンロードできます。）

- ① 趣意書
- ② ポスター
- ③ 署名用紙

2 署名の際の注意

- 署名は全国民を対象としています。
- 氏名・住所をボールペン等でご記入下さい。（鉛筆は不可）
- 印は不要です。代筆の場合もサイン及び印は不要です。
- 苗字・住所が同じ場合でも略式で記入しないで下さい。（「〃」又は「同」は不可）
- 署名用紙不足の可能性がある場合は、予めコピーいただくか、日本医師会ホームページ（<http://www.med.or.jp/vpd/>）からダウンロードして下さい。

3 送付先

ご署名いただいた署名用紙の原本をご所属郡市区医師会「署名活動係」宛に送付して下さい。（コピー及びFAXは不可）

4 送付期限 平成25年2月15日（金）必着（所属郡市区医師会宛）

5 送付費用 誠に恐れ入りますが、ご負担をお願い致します。

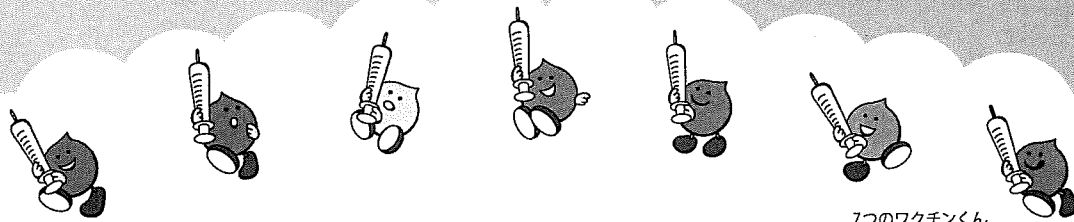
6 問い合わせ先 日本医師会地域医療第三課 ☎ 03-3942-6485

平成二十五年一月

日本医師会
予防接種推進専門協議会

[illegible]

※実物はB4版となります。



7つのワクチンくん

希望するすべてのひとに予防接種を!

ワクチンで防ぐことができる病気

(VPD:Vaccine Preventable Diseases)で、

苦しむひとたちがいます。

病気にかかる前に予防接種を受けることが大切です。

私たちは、希望するすべてのひとが定期接種で

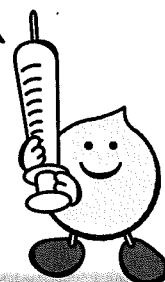
7つのワクチン[※]接種を受けられるよう、国に働きかけてまいります。

ワクチンで防ぐことができる病気から、
ひとりでも多くのひとを救うために、
署名活動にご協力ください。

※7つのワクチン:子宮頸がん予防、ヒブ、小児用肺炎球菌、水痘、おたふくかぜ、成人用肺炎球菌、B型肝炎

日本医師会 / 予防接種推進専門協議会

詳しくはこちらから ▶ <http://www.med.or.jp/vpd/>



※実物はB3版となります。

予防接種法改正による7ワクチンの定期接種化を実現するための署名活動

署名用紙等の配布回収の手順

配布方法

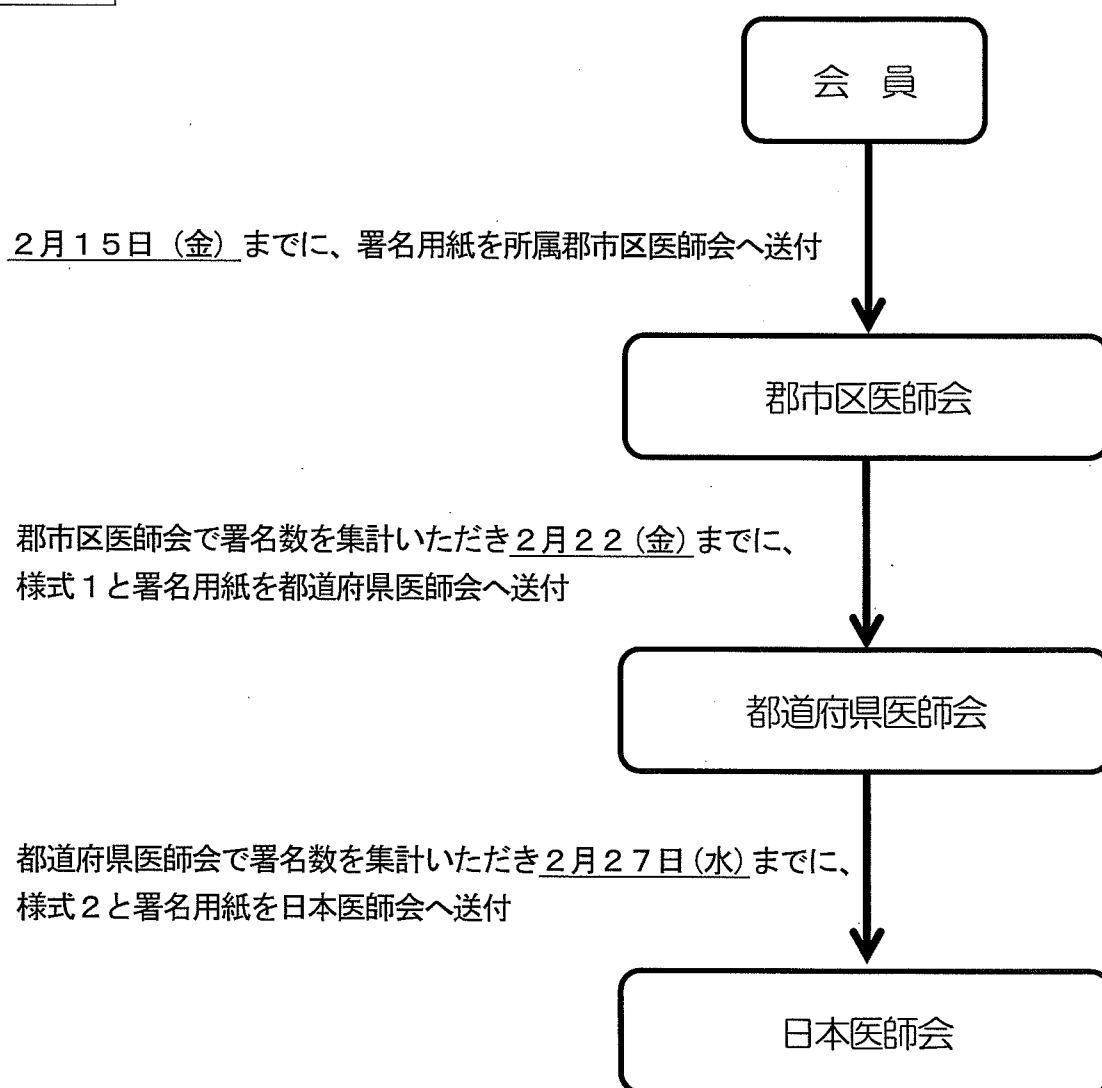
日医雑誌1月号に趣意書、ポスター、署名用紙等を同封（日医ホームページからもダウンロード可）



署名活動

1月～2月

回収方法



※送料につきましては、それぞれのご負担をお願いいたしたく、ご理解賜りますよう、お願い申し上げます。